

名張警察署協議会議事録

令和8年度第1回名張警察署協議会	
日 時 場 所	令和8年6月29日（月）午後1時30分～午後3時 名張警察署3階会議室
出 席 者	1 三重県公安委員会委員 1名 吉田すみ江委員長 2 警察署協議会委員 6名 上田真希委員、グエン ティ バン トゥオン委員、 寺岡保委員、中野伸宏委員、布村進委員、松崎瑠美委員 3 警察署 8名 署長、副署長、警務官、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備課長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 感謝状贈呈 2 委嘱状交付 3 公安委員会委員長挨拶 4 警察署長挨拶 5 警察署幹部及び警察署協議会委員自己紹介 6 警察署協議会設置の経緯・運営要領等の説明（警務官） 7 警察署協議会会長・副会長の選出 8 管内治安情勢（警察署長） 9 管内速度取締り指針の策定・公表（交通課長） 10 協議内容 (1) 警察官の交番への常駐依頼について ＜委員＞ 地元交番は、警察官の不在が多いと感じる。 パトカーが駐車されていない場合には、立ち寄りを諦めることがある。常駐が難しいことは理解しているが、住民の拠り所として、なるべく警察官には常駐していただきたい。 【署長】 日中に警察官が不在の際は、警察安全相談員が勤務し、夜間にあっては、自動車警ら班や他の交番員を立ち寄らせることで、住民の方が安心して生活できるよう努力していく。 (2) 自転車乗車時のヘルメット着用努力義務化による自転車事故件数の影響について ＜委員＞ 高齢者は運転免許証の返納後、自転車を利用する機会が増えるが、高齢者のヘルメット着用率が低いと感じる。 自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化となっているが、自転車事故件数の増減に影響があったか伺いたい。 【交通課長】 人身事故数は、年々減少傾向にある。現状では、自転車利用者の2～3割しかヘルメットを着用していないが、自転車乗車時のヘルメット着用努力義務化と自転車事故件数の増減に影響はないと感じる。 (3) 交通取締りについて	

＜委員＞ 国道の横断歩道のない箇所を横断する人を多く見るため、危険を感じている。 【署長】 横断歩道のない箇所の横断に対する取締りは、交通課と協議する。悪質な交通違反には、計画的に取締りや警告を行っていく。 ＜委員＞ 外国人居住者に対する、自転車の交通違反への青切符制度を周知するための外国語の資料が三重県警察になかったため、大阪府警察の資料を活用した。 三重県警察にも外国人居住者に交通ルールを周知する資料を作成してもらえたらと感じた。 【署長】 県内の某警察署は、紙芝居等を独自に作成して広報を行っている」と承知している。外国人居住者にも交通ルールがわかりやすいよう広報媒体の作成等を検討していく。 11 警察署長謝辞 12 公安委員会委員講評	
備 考	報道機関 3 社 3 名